

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「情報セキュリティマネジメント試験 平成30年度春期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、4月15日(日)に実施された「情報セキュリティマネジメント試験 平成30年度春期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の春期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成29年度春期試験、平成29年度秋期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

大分類		中分類	H29 春 出題数	H29 秋 出題数	H30 春 出題数
重点分野	技術要素	セキュリティ	30 問	30 問	30 問
	企業と法務	法務	5 問	6 問	6 問
小計			35 問	36 問	36 問
その他の 分野	コンピュータシステム	システム構成要素	1 問	1 問	2 問
	技術要素	データベース	1 問	1 問	1 問
		ネットワーク	1 問	1 問	1 問
	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	1 問	1 問	1 問
	サービス マネジメント	サービスマネジメント	3 問	3 問	2 問
		システム監査	4 問	4 問	4 問
	システム戦略	システム戦略	1 問	1 問	0 問
		システム企画	2 問	1 問	2 問
企業と法務	企業活動	1 問	1 問	1 問	
小計			15 問	14 問	14 問
全合計			50 問	50 問	50 問

●問題形式別

問題形式	H29 春 出題数	H29 秋 出題数	H30 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	14 問 (28%)	17 問 (34%)	12 問 (24%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	35 問 (70%)	32 問 (64%)	36 問 (72%)
計算(数値や計算式を求める問題)	1 問 (2%)	1 問 (2%)	2 問 (2%)
合計	50 問 (100%)	50 問 (100%)	50 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

設問	出題テーマ	設問数
1	個人情報の保護に関する法律への対応	6 問
2	内部不正事案	4 問
3	企業統合における情報セキュリティガバナンス	9 問
合計		19 問

3. 問題分析

情報セキュリティマネジメント試験がリリースされて、今回で5回目の試験となりました。回を追うごとに少しずつ難易度が上がっている印象です。平成 28 年度の春・秋期は、試験区分レベル 2 として難易度は低めでしたが、平成 29 年度以降、レベル相当の難易度になったといえます。

【午前問題】

各問題の難易度を他の試験区分と比較してみると、次のような内訳となりました。

レベル1相当の問題が減少し、本試験本来のレベル2相当の問題が増加しています。この点から、まず難易度が従来より上がったことがわかります。

さらに、今回はシラバスにない用語に関する新規出題も多かったことから、前回よりは難易度が上がった印象です。

難易度	H28 春 出題比率	H28 秋 出題比率	H29 春 出題比率	H29 秋 出題比率	H30 春 出題比率
IT パスポート試験(レベル 1)相当	20 問 (40%)	16 問 (32%)	13 問 (26%)	5 問 (10%)	3 問 (6%)
基本情報技術者試験(レベル 2)相当	24 問 (48%)	27 問 (54%)	28 問 (56%)	35 問 (70%)	42 問 (84%)
応用情報技術者試験(レベル 3)相当	6 問 (12%)	7 問 (14%)	9 問 (18%)	10 問 (20%)	5 問 (10%)
合計	50 問 (100%)	50 問 (100%)	50 問 (100%)	50 問 (100%)	50 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

また、今回も午前問題の約 5 割が、他の試験区分の過去問題から流用されていました。大半は基本情報技術者試験(FE)と応用情報技術者試験(AP)ですが、一部には情報セキュリティスペシャリスト(SC)やネットワークスペシャリスト試験(NW)なども含まれています。他試験の過去問題対策をしておけば、一定の得点を稼ぐことは可能です。

カテゴリ別に見ると、シラバスの「重点分野」から約 7 割、「その他の分野」から約 3 割が出題されており、過去の試験と同様の出題比率でした。全体的な傾向としても、前回同様に、JIS Q 27000 の規格や IPA 発行の各種ガイドラインの詳細を問う問題が目立つので、これらの対策は必須です。これらの規格やガイドラインについては、事前に確認しておくといでしょう。

問題形式別に見ると、「用語」が 2 割強、「事例」が 8 割弱となっており、単純な用語を問う問題よりも考察が必要な事例に関する問題が多い傾向は変わりません。「計算」は 2 問に増え、クリティカルパスと売上総利益を求める問題が出題されました。今後も、計算で解を求める問題は出題されると予想されます。

シラバスにない用語として、「サイバーレスキュー隊(J-CRAT)」「LAN アナライザ」「要配慮個人情報」「サンドボックス」「コントロールトータルチェック」などに関する問題が出題されました。このうち、「コントロールトータルチェック」は平成 29 年度秋期でも取り扱われたことがある用語です。シラバスにない用語でも、過去に出題された用語はしっかりと学習しておきましょう。

【午後問題】

今回は、個人情報の取り扱いや内部不正への対策、企業合併における情報資産管理やシステム統合など、組織の運用管理に関する出題でした。

今回は、従来のように、情報セキュリティに対する基本的な理解と一般常識から解答を導き出すことが可能な問題が減少しており、また、シラバスに記載がない「要配慮個人情報」「匿名加工情報」「不正のトライアングル」などの用語が含まれていることにより、難易度が上がった印象です。

また、問題のボリュームは、前回の 44 ページから従来並の 36 ページに戻りましたが、長文であることに変わりはなく、問題文を読み解くのにかなり時間がかかります。時間配分に留意し、普段から長文に慣れておくことが重要です。

4. 試験動向

基本情報技術者試験や IT パスポート試験など他の試験の応募者数が増加している中、減少傾向にあります。これは、合格率が平成 29 年度春期の 66.4%から、秋期では 50.4%と 16 ポイントも下がったことも、影響しているかもしれません。

しかし、学生については、平成 29 年度秋期の合格率が 23.3%と、全体の合格率よりかなり低い状況ですが、応募者数は 1,542 人から 1,700 人と微増しています。

	H28 春	H28 秋	H29 春	H29 秋	H30 春
応募者数	21,691 名	22,186 名	21,162 名	20,907 名	19,300 名
受験者数	17,959 名	18,630 名	17,045 名	17,039 名	※
合格者数	15,800 名	13,105 名	11,324 名	8,590 名	※
合格率	88.0%	70.3%	66.4%	50.4%	※

※2018 年 4 月現在、未公開。

5. 教材ラインナップ

当社の「情報セキュリティマネジメント試験」教材のラインナップは、次のとおりです。

●書籍

No.	教材名	型番 価格(税別)	説明
1	情報セキュリティマネジメント試験 対策テキスト&過去問題集 平成 29 年度版	FPT1622 2,200 円	シラバス(Ver1.1)にそって必要な知識を解説する教科書。出題範囲の体系的な学習に最適。平成 28 年度春期・秋期試験(2 回分)の解説を収録。 ※平成 30 年度版の提供予定はありません。
2	短期集中! 情報セキュリティマネジメント試験 改訂版	FPT1712 1,500 円	情報セキュリティ管理の概要を短期間で効率的に学習するためのコンパクトガイド。パソコンやスマートフォンから手軽にアクセスして利用できる「予想問題 100」付き。 ※情報処理技術者試験の過去問題から出題が予想される情報セキュリティ関連の問題を 100 問抜粋。インターネット経由で、繰り返しチャレンジできるドリルです。

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/jsm/index.html> をご覧ください。

●アプリ

No.	教材名	価格 (税込)	説明
1	Android 版(Google Play) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	320 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 28 年度春期・秋期試験の午前問題 全 100 問(2 回分)を収録。
2	Android 版(Kindle) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	320 円	
3	iOS 版(App Store) 情報セキュリティマネジメント試験 平成 28 年度 春・秋	360 円	

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/ebook/ap.html> をご覧ください。

以 上